

Press Release (H28/6/10)

第32回岐阜シンポジウム

「人のくらしと流域－これからの環境保全と持続可能な利用－」開催のご案内

岐阜大学流域圏科学研究センターでは、私たちの身近な環境である森林や河川について、研究教育を行っており、このたび、生活を取り巻く「環境」と人のくらしを科学の目で考える機会として、下記のとおり公開シンポジウムを開催いたします。

本行事につきまして、貴社の情報コーナー等でご紹介いただければ幸いです。当日の取材につきましても、併せてお願いいたします。

【第32回岐阜シンポジウム「人のくらしと流域－これからの環境保全と持続可能な利用－」】

- 日時：平成28年6月18日（土）13：20～16：00
- 会場：じゅうろくプラザ 大会議室（5F）（JR岐阜駅から直結）
- 招待講演「近代からポスト近代へ－流域社会の崩壊と再生－」
竹村 公太郎 氏（NPO法人日本水フォーラム代表理事・事務局長）
- 講演 「岐阜の森と水 研究から見た過去、現在、未来の姿」
栗屋 善雄（岐阜大学 流域圏科学研究センター 教授・センター長）
「地図と地形から読み解く岐阜の川の流れと水害」
児島 利治（岐阜大学 流域圏科学研究センター 准教授）
「いま進みつつある気候変動への適応に向けた岐阜の取り組み」
原田 守啓（岐阜大学 流域圏科学研究センター 准教授）

私たちの日々のくらしは、森林や河川などの自然環境から、きれいな水や新鮮な空気や農作物など、「生態系サービス」と呼ばれる多くの恩恵を受けています。その一方で、こうした自然環境は、時に私たちに脅威をもたらすこともあります。私たちは、豊かな自然の恩恵と脅威の中で、どのように生きてきたのでしょうか。

このシンポジウムでは、人がくらす「流域」の過去・現在・未来の姿を様々な科学的視点から浮き彫りにすることによって、森と水と人との関わりの「これまで」と「これから」を皆さんと考えます。

※ 入場は無料です。

※ ご参加の際は、お手数ですが、6月15日（水）までに gfsympo@gifu-u.ac.jp まで事前の参加申込みをお願いします。

【本件に関する問い合わせ先】

岐阜大学 学術国際部 研究支援課
電話：058-293-2195
E-Mail：gfsympo@gifu-u.ac.jp